6 月のブルーベリー農園その 2（東広島市豊栄町）

9 日に休みを取って農園に行き、12 日の土曜日は午後に新型コロナワクチン接種を受けたので農作業はお休み。13 日は一人で午後から農園の見回りと軽作業を行う。3 段ある農園の畑の草刈りと防草シートを敷く作業が終わる。あとは里山の 2 か所のブルーベリーの剪定が残るのみ。といったところが週末農業の進み具合。

6 月 9 日（水）。

① 3 段あるブルーベリー畑の真ん中の草刈り前の様子。夕方までかかってこの畑の草を刈り、11 日の金曜日に妻と友人 2 人が来園して刈った後に防草シートを敷いて頂く。感謝。

③ 作業の合間に早生のブルーベリーを摘み取り杭にぶら下げる。毎朝食べるヨーグルトに入れてぽりぽりの食感が楽しめるシーズン到来。

② 里山のブルーベリー園の剪定が続く。

6 月 13 日（日）。

① この日は一人作業。農園の近くの麦畑。

②　もうそろそろ刈り取りかも。

④　庭のショウブにも、

②　先週防鳥ネットを張ったが、張ったままで帰ったので
この日は穴の開いたところの補修を行う。

⑤　ドクダミ草にも

③　ネットの補修が終わった 4 時過ぎから雨。

⑥　カエルにも雨が落ち雨だれが落ちる。「雨が空から降れば/オモイデは地面にしみこむ/雨がシトシト降れば/オモイデはシトシトにじむ/　・・・　しょうがない/雨の日はしょうがない」(「雨が空から降れば」作詞/別役実　作曲/小室等/歌小室等　から)。早じまいで農園を後にした。

《2021 年 6 月 15 日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

2021 年 6 月 15 日

社会福祉法人安芸の郷　理事長　遊川和良